

令和4年度 災害支援ナース養成研修（実践編）

1. 目的

災害支援ナースの役割、災害医療及び看護の基礎的事項を理解するとともに、災害看護に必要な知識・技術を習得し、自身の所属する組織、機関や地域の防災力の向上や被災者や被災地域のために災害支援ナースとして活動できるよう実践能力を習得する。

2. 目標

- 1) 専門職ボランティアとしての災害支援ナースの役割・活動を理解できる。
- 2) 災害支援ナースとして、他者との協働、自律的な活動の重要性を認識できる。
- 3) 災害支援ナースとしての活動展開、展開にあたっての留意事項がわかる。
- 4) シミュレーションを通して、論理的思考力の重要性を理解できる。
- 5) シミュレーションを通して、災害支援ナースの活動の実際を想定できる。

3. 開催方法 オンライン研修（Zoom ミーティング）

4. 日時 【1日目】令和4年9月15日（木）午前9時30分から午後4時25分まで
 【2日目】令和4年9月16日（金）午前9時30分から午後4時10分まで

5. 内容

【1日目】※両日とも【講義】とブレイクアウトルームによるグループワーク【GW】を行う。

9月15日 (木)	9:00～	Zoom ミーティングの入室開始
	9:30～9:45 (15分)	あいさつ オリエンテーション
	9:45～10:20 (35分)	【講義】「押さえておきたい災害看護の専門用語と活動の基礎」 新潟県看護協会災害看護委員長 今井 康浩
	10:20～10:40 (20分)	【GW】「Q1 メンバーと目的を共有する（チームビルディング）」
	10:40～10:50	休憩
	10:50～11:25 (35分)	【講義】「災害支援ナース派遣までの実際と携行品の実際 ～東日本大震災での派遣を振り返って～」 済生会新潟病院 看護師 石川 百恵 新潟看護医療専門学校 教員 佐藤 真樹
	11:25～12:10 (45分)	【GW】「あなたならどうする？」 Q2 派遣決定までの調整と準備、Q3 派遣決定から出発 までの準備①②、Q4 携行品」 新潟県看護協会災害看護委員
	12:10～13:10	休憩
13:10～14:40 (90分)	【講義】「平成30年西日本豪雨災害での派遣活動・災害時の感染 管理について」 心臓センター榊原病院（岡山県岡山市） 感染管理認定看護師 田村 幸二 先生 【質疑・感想】	

	14 : 40～14 : 50	休憩
	14 : 50～15 : 25 (35分)	【講義】「新潟県の災害と保健活動、 保健医療活動チームの調整について」 新潟県新発田保健所 保健師 高橋 昌也
	15 : 25～16 : 10 (45分)	【GW】「災害対応のジレンマ体験 クロスロードゲーム」 新潟県看護協会災害看護委員
	16 : 10～16 : 25 (15分)	2日目の研修を受けるにあたっての準備について 災害支援ナース登録についての連絡

【2日目】

9月16日 (金)	9 : 00～	Zoom ミーティングの入室開始
	9 : 30～9 : 40 (10分)	オリエンテーション
	9 : 40～10 : 30 (50分)	【講義】「被災地での活動の実際 ～東日本大震災での派遣を振り返って～」 <医療機関での活動> 新潟大学医歯学総合病院 看護師 長谷川 郁 先生 <避難所での活動> 済生会新潟病院 看護師 石川 百恵
	10 : 30～11 : 00 (30分)	【GW】「活動場所の違いによる活動の特徴、 Q5 医療機関での活動、Q6 避難所での活動」 新潟県看護協会災害看護委員
	11 : 00～11 : 10	休憩
	11 : 00～11 : 45 (45分)	【GW】「災害・防災アクティビティ 災害食グランメゾン」 新潟県看護協会災害看護委員
	11 : 45～12 : 45	休憩
	12 : 45～14 : 15 (90分)	【GW】「災害支援ナースの活動の実際その1、 Q7 活動の原則、Q8 安全管理、Q9 多職種、他機関との 連携、Q10 自分たちの活動方針を立てる、Q11 活動の 修正と調整 新潟県看護協会災害看護委員
	14 : 15～14 : 25	休憩
	14 : 25～15 : 55 (90分)	【GW】「災害支援ナースの活動の実際その2、 Q12 マスコミ対応、Q13 支援者のストレス、Q14 記録 と報告、Q15 活動終了に向けて、Q16 帰還後に行うこ と」 新潟県看護協会災害看護委員
15 : 55～16 : 10 (15分)	閉会あいさつ アンケートについて、登録証の配布についての連絡	